

5月度 例会 個人 山行報告書		報告者	天野	参加 メンバー	CL:大矢康裕 SL:吉川浩行 不破孝浩 大矢浩貴、天野広
		報告日	06/02		
山域	恵那山系	山行日	07年 05月 26日(土)		
山名	南木曾岳				
山行目的	2007年 やまびこ祭 (Cコース)		コースタイム(天候:天気図記号)		

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙:集会担当者



05/26 晴れ
06:35 刈谷発
07:35 屏風山 PA
09:10 駐車場着
09:20 駐車場発
10:03 喉の滝にて一本
11:11 頂上着
11:30 頂上発
11:50 見晴台
12:40 一本
13:15 上下山道分岐
13:45 駐車場着
14:00 大矢さんとお別れ
14:15 南木曾温泉着
15:00 南木曾温泉発
16:00 あかまんま着

山行報告 前日に雨が降ったため、前回の例会(霊山)のドロドロが脳裏を横切っていた。しかし嘘のように晴れ上がり、絶好の登山日和となり、ホットした。

駐車場から車止めの横を通り自然探勝園に入る。林道と合流し、しばらく行くと登山口があった。少し行くと上り下りの分岐点に出る。道標通り左方向に登り始める。新緑がとても美しく、また沢の水量も多く清しい気分である。「沢を渡る橋、急な木の梯子、鎖場などがあり変化に富んだコースだなあと」思った。喉の滝にて一本。そこから吉川 SL に先頭を任せ、登り始めた。急登の連続であったし、他のメンバーの事を考え自分のペースより若干ゆっくり登った。2 回目の鎖場は迂回路があり、岩登りのコースは閉鎖されていた。カプトを過ぎ後三分の一くらいと想像していたらすぐに頂上へ到着し、休憩を取った。一旦下がったところに立派な非難小屋があり、少し登ると見晴らし台に出た。黄砂のため、中央アルプスはぼんやり見えたが、北の展望は全く利かなかった。山の位置が描いてある看板があり、眺望が利けば感動したと思う。初心者にとっては非常に残念だ。ここから先頭を任されて下り始めると、梯子などの連続梯子の連続で、また段差も大きく膝に負担が掛かる下山だった。そうこうしているうちに、上り下りの分岐点に出てほっと一息、後少して駐車場と思っただが、疲れのせいで下りの方が長く感じられた。

登山道の整備に感謝し、協力金をそれぞれに払ってきた。

見晴らしの利く日に、もう一度登ってみたい気分である。

リーダー所見 皆さんの健脚ぶりに脱帽、これも皆さんの日頃の精進の賜物と思います。上の鎖場は登りたい気持ちもありましたが、メンバー構成を考え、迂回路を取りました。コースは道標など良く整備されており、期待以上の山行でした。

フリースペース
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に



確認
(リーダー)
大
07/06/03
矢
作成
(報告者)
天
07/06/02
野